

令和7年度 宇部高専インターアクトクラブ (IAC)

活動報告書

〇、活動期間: 令和7年4月1日～令和8年3月31日

1. クラブ概況

宇部高専インターアクトクラブ (IAC) は、宇部西ロータリークラブの支援のもと、社会貢献活動と国際交流活動を中心に活動している。平成7年度は、1年を通して活動する初めての年度であり、会員主体の企画・運営及びホストクラブ主催の活動への参加を通じて、奉仕の精神、国際感覚、リーダーシップを向上させることができた。

2. 令和7年度活動方針

- ①地域社会への貢献
- ②国際理解の促進
- ③会員相互の交流と成長
- ④ロータリー精神の実践

3. 組織体制

会長 : 船越 早知恵 (経営情報学科3年)
幹事 : 上野 佳音 (物質工学科3年)
副会長 : 安田 舞衣 (経営情報学科3年)
会計 : 山根 碧依 (物質工学科3年)
顧問 : 畑村 学 (一般科)、杉山 透 (経営情報学科)、
川村 晃英 (一般科)

令和7年度クラブ会員 (令和8年3月31日) 29名

4 活動報告

(1) 理事会・例会の開催

- ①理事会: 毎月第3木曜日放課後に実施 (8回、長期休暇を除く)
- ②例会: 毎月第4木曜日放課後に実施 (8回、長期休暇中を除く)

例会および理事会を定期的に行い、活動計画の立案、活動報告、予算執行状況の確認を行っ

ID	名前	学年	学	役員
1	大島 一華	3年	B	
2	安田 舞衣	3年	B	副会長
3	船越 早知恵	3年	B	会長
4	中村 優介	3年	B	
5	永安 彩星	3年	B	
6	奥原 萌	3年	C	
7	浅谷 日加里	3年	C	
8	上野 佳音	3年	C	幹事
9	山根 碧依	3年	C	会計
10	谷 春乃	3年	C	
11	田中 琴音	3年	C	
12	西村 鉄兵	3年	E	
13	星出 愛結	2年	B	
14	河野 紗季	2年	B	
15	安藤 秀幸	2年	B	
16	江口 悠道	2年	B	
17	堀 夏寧	2年	B	
18	山岡 宗真	2年	C	
19	内田 椰乃葉	2年	C	
20	平田 智裕	2年	E	
21	柴田 大輝	2年	E	
22	佐田 絆	2年	E	
23	鎌田 夢純乃	2年	M	
24	児玉 衣織	1年	B	
25	植野 里音	1年	B	
26	原口 愛子	1年	B	
27	岩永 悠里	1年	B	
28	横沼 陽人	1年	C	
29	兼島 綾那	1年	C	

た。主な議題は新入会員承認、役員選出、活動計画策定、活動報告書作成等であった。

（２）宇部西ロータリークラブ事業

- 7月6日 宗隣寺清掃活動（9名が参加）
- 9月2日 宇部西ロータリークラブ例会（2名が参加）
- 10月19日 2025-26年度国際ロータリー第2710地区大会ローアリー地区大会 in 東広島
（6名が参加）
- 12月13日 高嶺園もちつき（3名が参加）
- 3月28～30日 日韓 IAC 交換事業韓国研修（1名が参加）

各活動は、宇部西ロータリークラブの支援を受けて実施した。宇部西 RC のみなさんや地域ボランティアとの協働により、地域とのつながり、達成感を感じることができた。

（３）社会貢献活動

- 6月14日 学生会社会貢献部による高嶺病院ボランティア活動（2名が参加）
- 6月20日 学生会社会貢献部による常盤中学校放課後学習支援（1名が参加）
- 11月24日 つなぐフェスボランティア（3名が参加）
- 1月31日 市民文化サロン「台湾の占い」での運営サポート（5名が参加）

社会貢献活動を通じて、地域の方々との交流や奉仕活動の実践を行った。

（４）国際交流活動

- 4月30日 学生会主催長期留学生ウェルカムパーティー（5名が参加）
- 6月19日 寮生会主催国際交流会（6名が参加）
- 6月27日 学生会主催短期留学生歓迎会（10名が参加）
- 7月7日 マツダ工場見学・防府異文化ツアーの企画・運営
- 7月15日 学生会主催七夕イベント（2名が参加）
- 7月23日 学生会主催短期留学生フェアウェルパーティー（9名が参加）
- 10月10日 産業バスツアー：防府・出光、大津島（2名が参加）
- 11月1日 オープンキャンパス留学交流室ブースで IAC の活動紹介
- 11月5日 学生会主催短期留学生ウェルカムパーティ（8名が参加）
- 12月15日～20日 U-Camp に IAC として協力・参加
- 12月20日 広島・宮島異文化体験ツアーの企画・運営
- 1月13日 モンゴル・ベトナム高専訪問団との交流会企画・運営
- 1月17日 山口県庁主催・海外高専生県内視察プログラム（下関）（4名が参加）
- 2月8日 子どもたちのためのときわ動物園ツアー（3名が参加）
- 2月26日 長期留学生・台湾短期留学生送別会の企画・運営

その他、ニーハロ台湾（台湾日本語学科の学生とオンラインで日本語交流）、ニーハロ Japanese（留学生との文化紹介を中心とした交流会）、ニーハロ English（英語の学習会）の企画・運営

を IAC 学生が年間を通じて企画・運営。また、国際寮の中国語勉強会や長期短期留学生歓迎会の企画・運営などを行った。

国際交流活動については、宇部高専しらとり会学生活動支援基金（郷田宏基金）の支援を受け活動を実施した。留学生との交流や異文化理解活動を通じて、会員の国際感覚向上に大きく貢献した。

（５）会計報告

項目	金額（円）	備考
飲料・菓子代	50,808	例会・歓迎会・各活動での飲料・菓子（畑村副校長、川村先生立替分計 3 件）
レクレーション備品代	45,906	ボランティア活動及び交流イベント用備品（畑村副校長立替分計 2 件）
T シャツ代・神社奉納料	53,160	IACメンバー用ユニフォーム（26 名分）及び寺社活動関連経費
振込手数料	715	143 円×5 回
合計	150,589	

本クラブの活動に関しては、宇部西 RC による支援に加えて、宇部高専しらとり会学生活動支援基金「郷田宏基金」の補助を受けて活動した。ここに記して感謝申し上げます。

5. 活動成果

社会貢献活動では地域との連携を深め、国際交流活動では多様な国・地域の学生との交流機会を創出した。特に U-Camp や異文化ツアー、歓迎会・送別会の企画運営では、会員が主体的に活動し、リーダーシップや企画運営能力を高めることができた。

6. 次年度への課題

- ・会員数の増加
- ・活動参加率の向上
- ・社会貢献活動の継続的实施
- ・国際交流活動のさらなる充実
- ・予算を活用した新規事業の実施

7.令和7年度会長の言葉

令和7年度宇部高専インターアクトクラブ会長 船越早知恵

昨年度、宇部高専インターアクトクラブは新たに創設され、私は会長を務めました。活動を始めた当初は、「インターアクトクラブとしてどのような活動を行っていくべきか」という具体的なイメージが十分に持てず、会長という大きな役割を果たせるのか不安を感じていました。また、私自身にとっても大きな団体をまとめる経験は初めてであり、さらに会員の多くもインターアクトへの理解や経験が少ない状態でのスタートだったため、どのように活動を形にしていくかを試行錯誤しながら取り組みました。

活動を進める中で特に苦労したことは、国際交流部と社会貢献部という異なる部活動に所属する学生たちが、お互いの活動に積極的に参加できる環境を作ることでした。それぞれ活動への関心が異なる中で、「宇部高専インターアクトクラブとして何ができるか」を考え、参加学生が主体的に活動に取り組めるように声掛けや企画運営を行いました。また、多くの活動が初めての経験だったため、「どうすればより良い活動になるか」を常に考えながら、会員を導いていく必要がありました。

その中でも特に印象に残っている活動は、宗隣寺で行われた池清掃活動と、学内で実施した短期留学生送別会です。宗隣寺での池清掃では、宇部高専の学生だけでなく、他校のインターアクトクラブの生徒やロータリー関係者の方々も参加しており、地域と連携した社会奉仕活動を体験する貴重な機会となりました。宇部高専として初めて参加する活動であり、最初は分からないことばかりでしたが、宇部ロータリークラブの皆様が温かく迎えてくださり、清掃活動を丁寧にサポートしてくださったことで、安心して活動に参加することができました。活動後には達成感だけでなく、地域の方々とのつながりの大切さも実感することができました。

また、短期留学生送別会では、学内で行われる通常の国際交流活動とは別に、インターアクトクラブの学生と台湾から来校した留学生がより深く交流できる場を作ることを目的として企画を行いました。会の運営や交流内容について試行錯誤を重ねましたが、普段は国際交流活動への参加が少ない会員学生も積極的に留学生と会話をしている様子が見られ、とても嬉しく感じました。学生同士が自然に交流し、言語や文化の違いを越えて関係を築いている姿を見て、インターアクト活動の意義を改めて実感しました。

この一年間の活動を通して、地域にあるロータリークラブがどのような理念のもと活動しているのかを知ることができ、大変新鮮で学びの多い経験となりました。また、宇部高専だけでなく、他校でも積極的に国際交流活動や社会奉仕活動が行われていることを知り、他校の学生と交流し意見交換を行うことで、自分自身の視野を広げることができました。

さらに、インターアクトクラブ会長として活動した経験を通して、責任感やリーダーシップを身につけることができたと感じています。毎月行われる例会では、活動の報告や提案を行うために事前準備を重ね、会員全体をまとめながら活動を進めていきました。団体の代表として前に立つ責任の重さを実感するとともに、周囲を見ながら行動する力や、自ら考えて行動する力が大きく成長した一年だったと思います。

今年度は、宇部高専学生会国際交流部長として、さらに学内の国際交流活動を活性化させていきたいと考えています。インターアクトクラブで得た経験は、単なるボランティア活動の経験

だけではなく、「自ら考え、周囲を巻き込みながら行動する力」や、「地域や異文化とつながる大切さ」を学ぶ貴重な機会となりました。今後もインターアクト活動で得た学びを活かし、学校内外で多くの人と関わりながら、より良い活動づくりに挑戦していきたいです。また、将来社会に出た際にも、この経験で培った責任感や主体性、コミュニケーション能力を活かしていきたいと考えています。

■参考資料

1. 宇部高専ホームページ掲載の宇部高専インターアクト関連記事

① 宇部高専インターアクトクラブ認定状伝達式を行いました（令和7年3月31日）

<https://www.ube-k.ac.jp/topics/20250331/>

2025.04.17 NEWS

令和7年3月31日（月）、宇部高専中会議室にて、宇部高専インターアクトクラブ認定状伝達式を行いました。

インターアクトクラブ（IAC）は、ロータリークラブがスポンサークラブとなり変換する高校生の社会貢献と国際交流を行う団体で、社会奉仕活動や国際交流活動を通じて、世界で活躍できるリーダーシップを身に付けることを目的としています。IACは、世界150カ国に約2万以上存在し、34万人のメンバーが登録しています。



認定状を手にする宇部高専IAC工藤藤雄会長と宇部西ロータリークラブ会長

伝達式には、スポンサークラブである宇部西ロータリークラブから藤田宏会長をはじめ8名のロータリー関係者が出席し、本校からは金寺智校長、堀村孝嗣校長、顧問の教員2名が来賓として出席しました。学生は、初代会長・工藤藤雄さん、次期幹事・上野壮貴さん、次期会計・山根敦哉さん等が出席しました。



宇部高専IAC認定状伝達式



開会の挨拶をする宇部高専IAC藤田宏会長

宇部高専では、これまで学生会国際交流部や社会貢献部が国際交流活動や社会奉仕活動を積極的にやってきた実績があり、今後1～3年までの活動に関しては、この2つの部が一線になり、インターアクトクラブとして活動していくことになります。



伝達式終了後の記念写真

伝達式終了後の記念写真

宇部高専にインターアクトクラブが誕生（宇部日報デジタルSARATTO）



参加者のコメント

宇部高専インターアクトクラブ・工藤藤雄会長（機械工学科3年）

本日はお忙しい中、このような伝達式を開催していただき、心より感謝申し上げます。

この伝達式を開催できたのは、日々支えてくださる先生方、宇部西ロータリークラブの皆様、そして宇部高専という恵まれた環境のおかげです。本当にありがとうございます。

これまで私たちは、社会貢献部として学校や病院での社会奉仕活動、国際交流部として留学生との交流活動やサポート活動を別々に行っていました。今後は1年生～3年生までは、宇部高専インターアクトクラブとして、2つのクラブが協力し、宇部西ロータリークラブのみならずのアドバイスをいただきながら活動してまいります。

インターアクトクラブのメンバーとして積極的に社会奉仕・国際交流活動を行い、日本や世界で活躍できる人材へと成長することを約束いたします。

改めて、本日は誠にありがとうございました。



宇部高専IAC工藤藤雄会長によるお礼の言葉

宇部西ロータリークラブ・藤田宏会長

宇部西ロータリークラブ会長の藤田でございます。インターアクトクラブ結成認定状授与に際し、一言ごあいさつ申し上げます。

前年より、宇部西ロータリークラブを提携クラブとして、宇部高専にインターアクトクラブを設立しようとの機運が高まり、堀村副校長をアドバイザーに、国際交流部と社会貢献部をまとめ、設立に向けて準備を進めてまいりました。

2024年末にはメンバーも決まり、2025年1月14日付で定款・組則も採択され、1月28日付で提携クラブの認定を受けて、国際ロータリーに認定申請を致しました。3月3日には、2月19日付で正式に結成認定状の交付を受けました。ここに国際ロータリー第2710地区20校目、山口地区9校目のインターアクトクラブが設立されました。

インターアクトクラブの目的は、「奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で、組共に活動する機会を青年男女に提供すること」です。インターアクトにできることは学校や地元地域でボランティア活動をする、異文化について学び国際親善に貢献する、学校や地元地域でリーダーシップを発揮する、楽しみながら世界中に友達を作るなどであります。

我々宇部西ロータリークラブの会員は提携クラブとして、宇部高専インターアクトクラブが活動を行い、リーダーとして力を身に付けられるよう激励・支援してまいります。

本日は誠にありがとうございます。

2025.07.23NEWS

令和7年7月6日（日）、宇部高専インターアクトクラブ（IAC）のメンバー8名が、宇部西ロータリークラブ主催の宗岡寺・徳心寮の清掃活動に参加しました。



本寺前に幸喜奉会

今回は、宇部高専IACとして初めての宇部西ロータリークラブ主催のイベントに参加することになりました。

宗岡寺・徳心寮は、山口県歴史の館としており、国の名勝史跡に指定されている有名な史跡です。




徳心寮の池に入って作業をするIAC男子メンバー

池のゴミを一掃するIAC女子メンバー

清掃活動は9時にスタートし、宇部高専IACは徳心寮の池の清掃を担当しました。30度を超える炎天下、池の底に溜まった落ち葉や木の枝、ヘドロをシャベルや網子（がんばかり）でかき集め、それを一輪車に載せて運搬する作業を繰り返しました。途中何度も給水休憩を取りながら、昼前には作業を終えました。




清掃作業の様子

清掃後の池の様子

今回の清掃活動には、これまで清掃作業に関わってきた宇部フロンティア大学付属高田高専の生徒も多く参加し、協力して清掃を行うことができました。

今回の清掃活動には、これまで清掃作業に関わってきた宇部フロンティア大学付属高田高専の生徒も多く参加し、協力して清掃を行うことができました。



作業終了後の集合写真

宇部高専IACは、今後も地域の活動に積極的に参加していきます。

学生のコメント

船越早知恵さん（経営情報学科3年、宇部高専インターアクトクラブ会長）

今年度インターアクトクラブとして初めての活動で宗岡寺の清掃に参加しました。

当日は気温が高く、暑い環境下での活動でしたが、宇部西ロータリークラブのみなさんや高田高専の生徒と協力して全力で宗岡寺の清掃を行うことができました。初めての参加ということもあり、戸惑う場面も多くあり、想像以上に大変な活動でしたが、参加した多くの方と交流しながら楽しく活動ができ貴重な経験にすることができました。今回の活動を通して地域に貢献することのやりがいや楽しさを深く実感することができました。

今後も地域に根ざした活動を大切にし、宇部西ロータリークラブの方々とより多く交流しインターアクトクラブとして成長していきたいです。

奥田結華さん（物質工学科1年）

宇部高専インターアクトクラブのメンバーとして、宗岡寺の清掃に参加しました。清掃は初めてのことで、思ったより力仕事で驚きました。しかし、参加者みんなが熱中症にならないよう声を掛け合い、協力しながら作業を進めることができ、無事に終わることができました。泥で汚れていた池が徐々にきれいになり、大きな達成感と清々しさを感ずりました。池がきれいになったことで、周囲の景色も一層美しく見えるようになりそうです。これから地域の一員として、この景色を守ってきたいと思います。今回の経験を通して、改めて環境をきれいに保つことの大切さを実感しました。

新しい記事へ

一覧へ戻る

古い記事へ

④宇部高専インターアクトクラブのメンバーが、国際ロータリー地区大会 in 東広島に参加しました（令和7年10月19日）

<https://www.ube-k.ac.jp/topics/20251019ubeiac/>

2025.11.04NEWS

令和7年10月19日（日）、宇部高専インターアクトクラブ（IAC）のメンバー5名が、2025-26年度国際ロータリー第2710地区大会に参加しました。

宇部高専IACは、令和7年3月に創設され、今年度から活動を行っています。今回、初めて地区大会に参加しました。



会場入り口で記念撮影

地区大会には、山口・広島地区のロータリークラブや、そのサポートを受けているインターアクトクラブ、交換留学生（高校生）、来山記念奨学生（留学生）が参加し、それぞれ活動報告を行いました。

山口県からは宇部高専のほか、野田学園、誠英高校、防府商業、サビエル高校が参加しました。



来山記念奨学生（留学生）の授賞

各校の社会貢献や国際交流の活動を知り合いの機会となりました。

参加した学生のコメント

鎌田 夢純乃さん（機械工学科2年、宇部高専インターアクトクラブ会員）

今回、初めて国際ロータリー地区大会に参加し、会場に集まった多くの人たちの活気に圧倒されました。自分たちのクラブだけでは見えなかった活動の広がりや、全国・世界でインターアクトクラブが広がっていることを実感し、その規模の大きさに驚きました。

また、自分たちと同じ年代の青少年交換留学の方々や、アメリカやフランスなど世界各地でそれぞれの分野に挑戦し活躍している発表者や、とても刺激を受けました。こうした活動がもっと多くの人に知られ、広まっていけばいいと思います。

今回は聞く立場での参加でしたが、来年は発表の機会もあると思うので、他校の活動を参考にしながら、自分たちの学校でも新しいアイデアを取り入れていきたいです。講演で印象に残った「Enjoy Rotary」という言葉のように、恵恩活動や国際交流を楽しむ気持ちを大切に、その楽しさを広めていきたいと思っています。



大会の休憩時間、会場にて

新しい記事へ

一覧へ戻る

古い記事へ

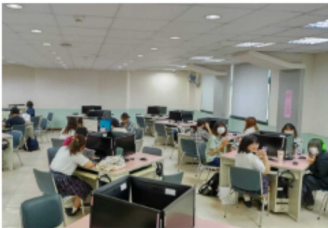
このページを印刷する

<https://www.ube-k.ac.jp/topics/20251106/>

2025.12.01 **NEWS**

令和7年11月6日（木）、台湾遠東校の高校生と日本語で交流する「ニーハロ台湾2025（後編）」のキックオフミーティングを開催しました。

『ニーハロ台湾』は、台湾遠東校にある文経外語大学お茶会部日本語学科の学生とオンラインで日本語交流を行う国際交流プログラムです。コロナ禍の令和2年10月から翌年2月にかけて第1回を実施し、その後は毎年定期・後期にメンバーを入れ替えて現存まで継続しています。



文経外語大学の生徒たちの様子

今回の参加者は台台合わせて36名（学部属南18名、文経外大の学生18名）で、Bグループに分かれて毎週メンバーを入れ替えながら、2月まで交流を続ける予定です。

オンラインの交流活動では、毎週他校や日本のさまざまな話題を取り上げ、日本語や時には中国語でディスカッションを行います。これにより、お互いの文化への理解を深めるとともに、文経外大日本語学科の学生の日本語力の向上をサポートします。



終了後の集合写真

また、文経外語大学日本語学科の学生とは、毎年夏に同大学で開催される中国語研修の際にも対面で交流する機会もあります。オンライン・対面を通じて、日台学生の友好が深まることを願っています。

学生のコメント	
西村 鉄兵さん（電気工学科3年・高専側リーダー）	「ニーハロ台湾」は、台湾・文経外語大学日本語学科の学生とオンラインで交流する活動です。この交流の魅力は、日本語で気軽に話せること、そしてオンラインでどこからでも参加できる手軽さにあります。 私は1年生のときから参加しており、台湾の学生たちの明るさや、日本の話題をたくさん振ってくれるおかげで、毎回会話がとても盛り上がりしています。 後期は1年生から3年生までの36人が参加し、夏に台湾留学を経験した学生や、国際交流に関心のある学生も多く集まりました。グループミーティングでは話かけを合い、和やかな雰囲気の中で活動がスタートしました。 これから春休みまでの約5か月間、毎週の活動を通して台湾の文化に親しみ、学部異なる国際交流活動のさらなる発展につなげていきます。
鈴木 文さん（文経外語大学五専部日文系3年・文経側リーダー）	2025年11月6日、台湾の文経外語大学日本語学科の学生と学部異なる学生とのオンラインキックオフミーティングが行われました。今回のミーティングではまず、両方のリーダーが挨拶を行いました。そのあと、参加者が自己紹介をしました。自己紹介をしているときはとても緊張して、うまく話せなかったです。ただ、相手の学生たちが優しく聞いてくれたので、少しリラックスしました。 日本の学生たちの自己紹介はかわいいし、自分のことを上手に伝えていました。その後はこれからの活動の進め方について説明があり、両校の全員が内容を理解することができました。 約130分間でしたが、とても貴重な時間で行われました。みんなのことを少し知ることでできて、楽しい時間を過ごしました。これからオンライン交流会がとても楽しみです。
	新しい記事へ 一覧へ戻る 古い記事へ

このページを印刷する

<https://www.ube-k.ac.jp/topics/20251220u-camp/>

2025.01.08 **NEWS**

令和7年12月20日（土）、本校の集約的な国際交流期間である“U-Camp”の活動の一環として、異文化体験ツアーを実施し、冬の気息を味わいました。今回は奥谷最大規模の参加となり、大部バス2台をチャーターして、短期留学生16名、本校の長期留学生5名、日本人学生67名および引率教員3名の総勢91名が参加しました。

当日は晴麗でしたが、それほど暑くはなく、落ち着いた日本の冬の景色の中、野きの塩や現地の食べ物を共に楽しみながら、留学生と日本人学生が文化体験を通じて交流を深めました。

留学生の集合写真

なお、企画・運営は本校の国際交流・社会貢献活動組織であるインターアクトクラブ（IAC）所属の学生が担当し、強いチームワークでイベントを成功に導きました。

※企画学生（下段はリーダー）＝

電気工学科2年：空田 大輝さん、佐田 祥さん、平田 智裕さん。

経営情報工学科2年：江口 悠道さん、安藤 勇幸さん、星出 愛結さん、堀 夏芽さん。

ツアーの様子

奥谷口ファニー乗り場

これから奥谷、楽しみ！

英語版

This is our first trip to Hiroshima. When we arrived, the rain stopped and the sun was shining so bright. It was warm and comfortable.

For the first time, I saw many wild deer walking leisurely on the road, and the whole trip was full of joy.

We went to Itsukushima Shrine to draw lots, visited the Miyajima Aquarium, and ate a lot of local snacks on the streets along the way. We had a very wholesome day.

Although on the way back, we still talk and laugh a lot with everyone, I can't help but hope that time can stop here, so that we can enjoy the moment of sharing laughter with everyone.

How I wish I could have more opportunities to get along with everyone like this, but this day is definitely an unforgettable memory to me.

日本語版

私たちにとって初めての広島旅行でした。到着したとき、ちょうど雨が止み、太陽が出ていて、暖かくて快適でした。

初めて野生の鹿が道を悠々と歩いているのを見て、全体が笑いにあふれる時間になりました。私たちは厳島神社でおみくじを引きました。宮島水族館を見学し、通り沿いでたくさん地元のお店（スナック）を食べました。一日中、とても楽しく過ごしました。

帰りの道でもみんなで話したり笑ったりしていましたが、やはり時間がこのまま止まっていたらいいと思いました。そうすれば、みんなと一緒に笑い分かち合うこの瞬間をもっと楽しめそうです。

こんなふうにみんなと過ごす機会がもっとあればいいと思いますが、この一日は私にとって、間違いなく一生忘れられない素晴らしい思い出となりました。

NISA NABILAH BINTI MOHD ASRIN (ニーサ) さん（マレーシア・マラエック大学からの短期留学生）

My visit to Itsukushima Island was a memorable experience. I was initially concerned about planning the itinerary with my group, but once we arrived, everything went smoothly. The group members were welcoming, and I felt included throughout the visit.

I explored the floating torii gate and Itsukushima Shrine, tried local food such as agemomiji, and took photos around the island. The experience helped me gain confidence in working with people from a different cultural background and improve my communication skills. It also deepened my understanding of Japanese culture.

Although we had more than three hours to explore the island, the time passed very quickly, and I wished we had more time to experience more local food and places.

日本語版

私の厳島訪問は、忘れられない経験となりました。最初はグループでの旅程をどう計画するか少し心配でしたが、到着するとすべてが順調に進みました。グループのメンバーはとても親切で、訪問中ずっと自分も仲間に入れてもらっていると感じました。

浮かぶ鳥居や厳島神社を見学し、揚げおみじなどの地元のお店を食べ、島のあちこちで写真を撮りました。

この経験を通して、異なる文化を持つ人々と協力する自信が付き、コミュニケーション能力も向上しました。また、日本文化への理解も深まりました。

島を探索する時間は3時間以上ありましたが、あっという間に過ぎてしまいました。もっと地元のお店や場所を体験する時間があればよかったと感じました。

⑦市民文化サロン「台湾の占い—台湾留学生と楽しく学ぶ台湾華語と台湾文化—」を開催しました（令和8年1月13日）

<https://www.ube-k.ac.jp/topics/20260131/>

2026.02.05 NEWS

令和8年1月31日（土）、学部附属で中国語の教育実習を行っている2名の台湾人学生が、市民文化サロン「台湾の占い—台湾留学生と楽しく学ぶ台湾華語と台湾文化—」にて、台湾の占いとそこで行われる占いについて紹介しました。



会場の様子

講師を担当したのは、文彦外語大学応用華語系3年の張紋慈さんと葉子晴さんの2人です。2人は昨年10月から今年2月までのスケジュールで、短村宇教授の指導のもと、学部附属で中国語の教育実習を行っており、今回の市民文化サロンも教育実習の一環として開催しました。

文彦外語大学は台湾・高雄にある大学で、学部附属と学部交流協定を結んでいます。毎年夏季休暇中は、学部附属の学生が中国語の研修および台湾文化の調査を現地で行っています。また、文彦外大の学生の受け入れも行っており、現在学部附属では中国語の教育実習生2名、英語の教育実習生2名が教育実習を行っています。



実習生が準備した占いの道具：カガミ、おみくじ（おみくじ）を入れた箱

書籍「おみくじ」

占杯（ジャオバイ）2つセット

今回の市民文化サロンでは、台湾の占いの文化を紹介しました。台湾ではおみくじと呼ばれる神籤を祀ったきりぎりすかな建物を街のあちこちで見ることが出来ます。サロンの最初で、その概要や、中国語と台湾華語の違いなどを短村宇教授が解説しました。その後、台湾の留学生が前や後で行われる行事の紹介、参拝の仕方について説明しました。



文彦外語大学の紹介をやる張紋慈さん（左）と葉子晴さん（右）

台湾の廟を紹介する張紋慈さん

台湾の廟の社会科展覧について解説する短村宇教授

サロンの後半には、廟で実際に使う占杯（ジャオバイ）と呼ばれる占いの道具を使い、占いを体験してもらいました。



占杯（ジャオバイ）を用いる参加者



占杯（ジャオバイ）を用いる参加者

サロンには中学生から年配の方まで17名が参加し、終了後には「台湾の文化に興味を持った」「実際に占いを体験できてとても楽しかった」「なかなか海外の方とふれあうことがないので、新鮮でした」といった感想が寄せられました。



参加者全員で集合写真

学部附属では、一般の方々に向けた国際交流イベントを今後も開催していきます。

学生コメント

張紋慈さん（文彦外語大学）

今回の市民講座のテーマは「台湾の占い」でした。講座では、日本の市民の皆さんに向けて、台湾の寺廟建築の特徴や、寺前に関連する民俗行事、そして一連の参拝の流れについて紹介しました。台湾の寺廟は、人々にとって重要な信仰の場であるだけでなく、心の安らぎと精神的な安らぎを与える存在でもあり、多くの興味深い文化的背景を有しています。

本講座を通して、台湾の寺廟文化を日本の市民の皆さんに伝え、台湾への理解が深まるとともに、より深く文化そのものへと広がりを感じました。

今回参加した市民の皆さんは年齢層に幅がありましたが、華語や台湾文化を学ぶという共通の目的を通じて、自然と一体感が生まれていました。活動中は学習意欲の高い姿勢が随所に見られ、会場全体が活気に満ち、質疑と回答が自然と進んでいきました。参加者の皆さんが満足そうな表情で帰っていく様子を見て、私も大きな達成感を得ることができました。

特に印象に残っているのは、参加してくれた中学生が活動の途中で観望をつまき始められなかったものの、同席の参加者からの励ましや応援を受けて、最終的にやり遂げた場面です。その瞬間、会場から自然と大きな拍手が湧き起こり、互いに支え合いながら一つの目標を達成することの喜びと感動を分かち合いました。この経験は、私の心に深く刻まれる思い出となりました。

藤子碩さん（文庫外語大学）

今回の市民講座では、台湾の寺廟文化をテーマに、台湾の人々の日常生活と寺廟信仰がどのように深く結びついているかについて紹介しました。台湾における寺廟は、型なる宗教施設にとどまらず、新顔や古い事を試す場であり、人々の心をつなぐ大切な空間でもあります。

講座では、寺廟の基本的な構造や参拝の流れ、礼儀作法について解説し、参加者の皆さんが台湾の寺廟文化をより深く理解できるよう工夫しました。台湾の寺廟文化に初めて触れる参加者にとって、この体験は新鮮で興味深いものだったように感じます。

参加者の中には台湾文化に強い関心を持つ方も多く、説明を熱心に聞き、積極的に質問する姿が見られ、会場はとても活気のある雰囲気でした。参加者の年齢層が幅広く、高橋園でのコミュニケーションに不安もありましたが、堀村先生のご協力のおかげで、講座は円滑に進行しました。

今回の講座を通して、台湾の寺廟文化を紹介できたこと、そして参加者の皆さんが真剣に取り組んでくださる姿を目にできたことは、私にとって非常に貴重な経験となりました。

新しい記事へ

一覧へ戻る

古い記事へ

⑧宇部高専インターアクトクラブの学生が、日韓インターアクト交換事業・韓国研修旅行に参加しました（令和8年3月28～30日）

<https://www.ube-k.ac.jp/topics/20260328-30/>

2026.05.15 NEWS

宇部高専インターアクトクラブ（IAC）の学生が、日韓IAC交換事業の韓国研修旅行に参加し、春休み期間中に韓国・ソウルで韓国のインターアクトの学生と交流しました。

今回の韓国研修旅行に参加したのは、大島一華さん（経営情報学科4年）です。大島さんは、国際ロータリー第2710地区（山口・広島）が主催する韓国研修旅行に応募し、令和8年3月28日から30日の3日間、野田学園、サビエル高校などの高校のインターアクト8名と韓国ソウルを訪れました。

宇部高専IACは、宇部西ロータリークラブをスポンサークラブとして、令和7年度より活動しています。今後もこうしたロータリークラブ主催の活動にも積極的に参加していきます。




インターアクトのメンバーと地味観光を訪問

ヘウォンさん（右）、大島さん（中央）、ヘウォンさんのお母さん（左）




ホジョン製菓店の体験。右がヘウォンさん。

韓国の宮廷

大島一華さんの研修報告

研修初日、韓国IACのソ・ヘウォンさんと会談の機会を頂きました。今年1月に彼らたちが日韓交換事業で山口県を訪れた時から交流が密であり、普段からSNSを通じて近況を報告し合っていたこともあり、再会してすぐに以前のようないい関係で打ち解けることができました。

日韓交流の行事に参加した後は、2人でバスに乗り、ソウルの聖水（ソンス）へ向かいました。ヘウォンさんの兄が家族カフェで夕食をいただいた他、プリクラを撮ったり韓国歌を演じたりと、現地のリアルな流行を肌で感じながら、楽しい思い出を作ることができました。

ホジョンへ行った後は、別のペアと合流してカラオケへ行き、短い時間でしたが大いに親睦を深めました。その後、ヘウォンさんのお母様と再会し、一緒にカフェへ向かいました。そこで私たちの韓国旅行を聞いていただいたことは、2人にとって一生の宝物となりました。1月の山口訪問の際にもたくさんのお土産をいただきましたが、今回も遺がいおいてなにより多くのお土産をいただき、家族のように接してくださる情様の優しさに触れ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

2日と3日目は、ソウルの歴史と文化をより深く知るための研修を行いました。朝鮮王朝の正宮である景福宮では、荘厳な建築や歴史の学びを学び、北村韓屋では、伝統的な民宅様式を今に伝える街並みを堪能しました。近代的な高層ビルが立ち並ぶソウルにおいて、いかに伝統が大切に守られているかを実感する貴重な機会となりました。

また、活気あふれる明洞や、100年以上の歴史を持つ伝統市場を訪れました。市場では、山積みのお肉や人々の力強い掛け声が韓国の食文化の豊かさやエネルギーを直感で感じる事ができ、朝の光を浴びた深い学びを得ることができました。

今回の日韓交流プログラムへの参加を通じ、通常の旅行では決して得られない、韓国の真の文化や人々の温かさに触れることができました。もっと長く滞在したいという名残惜しさもありますが、次にまた会う約束を交わすことができ、この縁がこれからも続いていくことを嬉しく思っています。今回の研修で得た貴重な経験と絆を糧に、これからも積極的に国際交流活動に参りたいと考えています。

新しい記事へ

一覧へ戻る

古い記事へ

2.その他活動に関わる資料（一部）

①宇部高専 IAC 公式 T シャツとロゴ



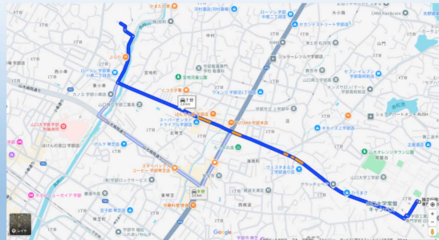
②宗隣寺清掃活動（7月6日）

宗隣寺池掃除（7/6）

1	兼島 綾那	本科1年	C
2	河野 紗季	本科2年	B
3	佐田 絆	本科2年	E
4	平田 智裕	本科2年	E
5	柴田 大輝	本科2年	E
6	江口 悠道	本科2年	B
7	鎌田 夢純乃	本科2年	M
8	船越 早知恵	本科3年	B

引率：畑村

- 集合：8:50 現地集合
- 作業時間 9:00～最大14:00 ※雨天中止
- 注意事項
 - ・汚れても良い服
 - ・長靴、あるいはゴム草履
 - ・弁当と飲みものは宇部西RCが準備
 - ・どぶの中の掃除のイメージです。汚れますので、そういった服装をお願いします。



③産業バスツアー（7月7日）

当日のスケジュール（7/7）

（5）当日のスケジュール

時刻	内容
8:00	宇部高専駐車場（管理棟前） 集合
8:10	宇部高専 出発
9:20	マツダ防府工場 西浦地区着
11:40	マツダ防府工場 西浦地区発
	1班（18名） 2班（18名）
12:00～13:00	防府天満宮・ウメテラス周辺（昼食）
13:00～13:30	茶室 芳松庵（茶道体験）
13:30～14:00	防府天満宮・ウメテラス周辺
14:00	防府天満宮出発
14:30	大平山山頂公園 着
15:45	大平山山頂公園 発
17:00	宇部高専 着

2グループ：通訳要/不要

昼食はイオンの予定

2グループ：前半/後半

マツダ工場見学・防府天満宮他（7/7）

1	堀夏寧
2	星出愛結
3	河野紗季
4	安田舞衣
5	田中 琴音
6	谷春乃
7	船越早知恵
8	平田智裕
9	柴田大輝
10	江口悠道
11	西村鉄兵

引率：畑村・中野先生
（留学交流室）

2025年度第1回留学生産業バスツアー実施計画書

1. 趣旨と目的
留学生が日本のビジネス・経済・文化・研究活動への関心・理解を深め、自国の企業・文化と日本の産業・文化を比較する機会を提供する。
またこの機会を通じて、日本の産業・文化に対する理解を深め、卒業後の進路の一助とすることを意図している。
2. 旅 程
(1) 開催日 令和7年7月7日（月）
(2) 行先 マツダ防府工場西浦地区、防府天満宮、大平山山頂公園
(3) 参加者数 36名（長期留学生8名、短期留学生13名、日本人学生11名、引率教員3名、韓先生（聯合大学））
引率教員（予定）：海外事業推進室長 中野先生
IAC担当教員 畑村先生
留学交流室（ベトナム学生通訳） ファン先生
- (4) 交通手段 スクールバス（28名乗り）、セレナ（8名乗り・畑村先生運転）

- ・IACメンバーは制服（Yシャツ、下にIACのTシャツOK）
- ・留学生も準正装 ※畑村指示
- ・昼食代などは各自準備

(5) 当日のスケジュール

時刻	内容	
8:00	宇部高専駐車場（管理棟前）	集合
8:10	宇部高専	出発
9:20	マツダ防府工場	西浦地区着
11:40	マツダ防府工場	西浦地区発
12:00	イオン防府店	（昼食）
13:10	イオン防府店	出発
13:20	天神山公園駐車場（防府天満宮）	
	1 班（14 名）	2 班（14 名）
13:30～14:00	茶室 芳松庵（茶道体験）	防府天満宮・ウメテラス周辺
14:00～14:30	防府天満宮・ウメテラス周辺	
14:30～15:00		茶室 芳松庵（茶道体験）
15:10	天神山公園駐車場	出発
15:40	大平山山頂公園	着
16:00	大平山山頂公園	発
17:20	宇部高専	着

2025年度第1回留学生産業バスツアー参加者名簿

区分	NO	学科（短期留学生は出身校・出身学科）	学年	氏名	通称	国籍
長期 留学生	1	機械工学科	5年	ZAHOUNDO VALENTIN	ベレンティン	ベナン
	2	制御情報工学科	5年	HASSINE MOHAMED ALI	モハメド	チュニジア
	3	制御情報工学科	5年	COACH CARDOLL ROLAND	コーチャ	マレーシア
	4	物理工学科	5年	PHATTANA SISSOPHONE	シー	ラオス
	5	機械工学科	4年	AL HYZZUL IMAN BIN AZMUDIN	イマツル	マレーシア
	6	物理工学科	4年	SHAMBARE MUNASHE	ムナシエ	ジンバブエ
	7	電気工学科	3年	ZARITH ISKANDAR BIN MISHOLFAZZIL	ザリス	マレーシア
	8	電気工学科	3年	NICHANAN MIKAWAN	ニョナナム	タイ
短期 留学生	9	国立聯合大学	2年	陳 冠群 / Chen Guoqun	ホイダ	台湾
	10	国立聯合大学	2年	李雨霽 / Li Yu Chen	ジューチャ	台湾
	11	国立聯合大学応用電子系	2年	王 伊明 / Wang Yimin	イーミン	台湾
	12	国立聯合大学応用電子系	3年	楊 凱恩 / Yang Kaiyen	アニー	台湾
	13	国立聯合大学応用電子系	3年	林 恩豪 / Lin Enyang	エンジャシ	台湾
	14	国立聯合大学応用電子系	2年	林 宜均 / Lin Yijun	イージュン	台湾
	15	国立聯合大学経営管理学科	2年	饒宇軒 / Chueh Yu Hsuan	ルビー	台湾
	16	カオラン技術短期大学メカトロニクス学科	1年	Kieu Vinh Quang	クワン	ベトナム
	17	カオラン技術短期大学メカトロニクス学科	1年	Le Tung Tin	ティン	ベトナム
	18	フエ工業短期大学電気電子学科	1年	Nguyễn Đình Dương	ジェンズオン	ベトナム
	19	フエ工業短期大学電気電子学科	1年	Trần Thanh Long	ロン	ベトナム
	20	南工短期大学産業電子学科	1年	Phạm Văn Phúc Dương	フック・ズオン	ベトナム
	21	南工短期大学産業電子学科	1年	Le Vuong Triu	チュウ	ベトナム
	22	電気工学科	2年	梅田 大輝	-	-
	23	電気工学科	2年	平田 智樹	-	-
日本人 学生	24	経営情報学科	2年	江口 悠希	-	-
	25	経営情報学科	2年	中野 和季	-	-
	26	経営情報学科	2年	熊 夏希	-	-
	27	経営情報学科	2年	星 出 夏結	-	-
	28	電気工学科	3年	西村 悠矢	-	-
	29	物理工学科	3年	谷 希乃	-	-
	30	物理工学科	3年	田中 寿希	-	-
	31	経営情報学科	3年	船橋 早知恵	-	-
	32	経営情報学科	3年	栗田 雅矢	-	-
	33	経済学（国際・地域・広域）（一般科）	2年	松村 学	-	-
引率 教員等	34	海外事業推進室長（物理工学科）	-	中野 隆一	-	-
	35	総学交流室（経営情報学科）	-	PHAN THI THUY TRANG	ファン	ベトナム
	36	協定校研究員（国立聯合大学理工系）	-	陳 冠群 / HAN QUN QUAN	ホシ	台湾

国籍別一覧	人数
ベナン	1
チュニジア	1
マレーシア	3
ラオス	1
ジンバブエ	1
タイ	1
台湾	8
ベトナム	7
日本	13
合計	36



出光興産（防府）



大津島（回天記念館）

④ 2025-26 年度国際ロータリー第 2710 地区大会ローアリー地区大会 in 東広島（10 月 19 日）

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 地区大会プログラム
大会テーマ「Enjoy Rotary」
～人生を楽しむために～

開催日：2025年10月19日（日）
本会場：東広島芸術文化ホールくらら
（東広島市西条保町7番19号）（082）262-1111）

青少年とロータリーの時間
09:30 登録・受付
10:00 青少年とロータリーの時間
① ローターアクトクラブ代表
② インターアクトクラブ代表
③ ローター財団奨学生
④ 青少年交換学生
⑤ 栄山奨学生（2025-26年度）
11:50 休憩・昼食（弁当は大会側が負担します）

本会場・記念講演
12:00 本会場 登録・受付
12:50 オープニング映像
13:00 点鐘
14:00 休憩
14:15 記念講演 須田 孝雄氏
16:45 点鐘

氏名	参加できますか。
鎌田夢純乃	参加できる
兼島綾那	参加できる
柴田大輝	参加できる
大島一華	参加できる
中村優介	参加できる
永安彩星	参加できる
河野紗季	参加できる



⑤短期留学生歓迎会（10月16日、11月5日）



⑥ U-Camp 期間中の活動（12月15～20日）



⑦ 高嶺園もちつき

1、活動報告

（1）全体

- ・ 高嶺もちつき
- ・ 12月13日（土曜）
- ・ 2人：3B船越、安田、杉山先生
- ・ 宇部西RC 7名程度



⑧ モンゴル・ベトナム高専訪問団の来校（1月13日）

1、活動報告

（3）国際交流部

① 海外高専生訪問団との交流

- ・ 1/13（火曜）15：30～
- ・ モンゴル高専5名、ベトナムCTTC3名
- ・ IACメンバー4名
3B船越、3B安田、3B永安
2E平田、2E佐田
- ・ アクティビティ：自己紹介、お題で会話
日本語で交流（日本語学習兼ねる）



⑦ニーハロ Japanese・ニーハロ English

1、活動報告

(3) 国際交流部

◎ ニーハロJapanese実施：1/8(木)

企画運営：3B 太島

参加者に以下のIACメンバー含む：

3C田中、3C谷、1B植野、1B原口



◎ ニーハロEnglish実施：1/22(木)、1/27(火)

企画運営：3C 奥原

参加者に以下のIACメンバー含む：

3C浅谷、2E佐田、2E平田、
1B植野、1B原口



⑧モンゴル・ベトナム高専県内視察プログラム（1月17日）

県内視察プログラム 1/17 (土)

山口県・下関の魅力を、見て・歩いて・体感しよう！

8:00 ホテル出発
9:00 宇部高専白鳥聖地蔵 宇部高専の皆さんと合流
10:00 ~ 12:00 海響館
12:00 ~ 13:00 唐戸市場 (唐戸市場側)
13:00 ~ 13:45 厳流島 (遠隔参加)
13:45 ~ 15:00 カモンゾウ、赤間神宮、亀山八幡宮 散策
15:15 ~ 16:00 海峡ゆめタワー
17:00 宇部高専白鳥聖地蔵
18:00 ホテル到着

海響館 関門海峡をテーマにした水族館。世界一の雄鯨展示。海の生き物や、世界の自然など、7階からでは海の魅力を体感できる市営水族館。

唐戸市場 山口県の「食の宝庫」として親しまれる唐戸市場。新鮮な海の幸や、新鮮な魚介を使った料理や、新鮮な魚介を使った料理や、新鮮な魚介を使った料理が楽しめます。

厳流島 日本の有名な戦士・宮本武蔵と伝説の戦いが起こったことで知られる。関門海峡に浮かぶ小さな島で、島の景色と日本の歴史を感じられます。

赤間神宮 雄大な雄姿を誇る神宮。境内には世界最大のふくろの櫓や、歴史を伝える石灯籠(亀山燈籠)があります。

亀山八幡宮 約1000年以上の歴史をもつ、境内には世界最大のふくろの櫓や、歴史を伝える石灯籠(亀山燈籠)があります。

海峡ゆめタワー 高さ118mの展望タワー。関門海峡の真実を一望することができます。塔の展望台から、海峡を一望することができます。

当日のご案内

- 当日のバス代・入場料は各自負担します。
- 昼食などの飲食代は各自負担となります。
- 当日、思ったことがあれば写真などで連絡ください。

090-5471-8836 (担当: 関)

県内視察プログラム参加者一覧

【海外高専 (5名)】					
所属	氏名	学年	性別	氏名	氏名 (漢字表記)
モンゴル	高専 電子工学	4	18	ブレイブ・ドルゴ	BUKHO DOLGO
	高専 工学	4	18	バト・ツェン・アムバル	BATTOZEN AMBAR
	高専 工学	4	18	ダグ・ツェン・アムバル	DAGHO TENGALAS
	高専 工学	4	17	バト・ツェン・アムバル	BATTOZEN AMBAR
ベトナム	高専 工学	4	18	マイン・ツェン・アムバル	MAINH TENGALAS
	高専 工学	4	18	マイン・ツェン・アムバル	MAINH TENGALAS
	高専 工学	4	18	マイン・ツェン・アムバル	MAINH TENGALAS
	高専 工学	4	18	マイン・ツェン・アムバル	MAINH TENGALAS
【宇部高専 (4名)】					
所属	氏名	学年	性別	氏名	氏名 (漢字表記)
高専 工学	1	18	男性	柴田 大輝	SHIBATA DAIKI
高専 工学	1	18	女性	平田 智裕	HIRAHATA TOMOYUKI
高専 工学	2	18	男性	植野 里音	UCHINO RION
高専 工学	2	18	女性	児玉 衣織	KODAMA YUKI
【山口県 (3名)】					
所属	氏名	学年	性別	氏名	氏名 (漢字表記)
高専 工学	1	18	男性	関 智	KAN TOMOYUKI
高専 工学	1	18	女性	関 智	KAN TOMOYUKI
高専 工学	1	18	女性	関 智	KAN TOMOYUKI

1、活動報告

(3) 国際交流部

②海外高専生県内視察プログラムに参加

- ・1/17 (土曜)
- ・モンゴル高専5名、ベトナムCTTC3名
- ・IACメンバー4名

2E柴田大輝、2E平田智裕

1B植野里音、1B児玉衣織

- ・下関：海響館、唐戸市場、厳流島、赤間神宮
亀山八幡宮、海峡ゆめタワー



⑨子どもたちのためのときわ動物園ツアー（2月8日）

■参加予定者

2E柴田大輝

1C横沼陽人

2E佐田絆

5Cシー

4Cソベック

ジェシカ（台湾）



子どもたちのための ときわ動物園ツアー
動物園ツアーやエコバッグ・缶バッジ作りなど

日時	2月8日(日) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00	対象	高校生以下と その保護者
場所	ときわ動物園 体験学習館モンスター	定員	各回25人(先着順)
申込み	2月6日(金)までに申込みフォームで SDGsワークスへ ☎070-5555-0519 申込み		






オリジナルエコバッグ
をつくろう！

開催日時 令和8年2月8日(日)
1回目 10:00~12:00
2回目 13:30~15:00

場所 ときわ動物園・体験学習館モンスター
対象 高校生以下
(関係者・友人の子どもも参加できます。)

定員 上記各回25名
参加費 無料
申込締切 2月6日(金)
(ただし、定員に達した場合は受付終了)

主催 宇都市
お問い合わせ 一般社団法人SDGsワークス 070-5555-0519

参加者へのお願いは、お申し込みの際にお知らせいたします。

※本企画は、宇都市動物園と連携して実施しています。動物園のルールやマナーを守って参加してください。

UBE 宇都市
環境未来創造局



⑩長期・短期留学生送別会（2月26日）

